

晴るばる



JA KITAHARUKA
PR brochure
HARUBARU



vol. 199
2024. 10月号

なかがわ秋味祭り開催

中川

牛魂碑慰霊祭が執り行われました

9月6日、北はるか酪農振興協議会中川部会主催により、なかがわ道の駅横の牛魂碑前および中川神社にて牛魂祭を開催しました。当日は中川町の酪農家の他、中川町役場、中川町農業振興公社、JA等各関係機関も出席しました。

当祭事は、中川地区における牛および家畜の慰霊祭で、亡くなった家畜を偲び、今後の中川町畜産経営の発展を祈願するものです。

はじめになかがわ道の駅横の牛魂碑にてお祈りし、その後中川神社内にある牛魂の祠にて家畜の御霊に手を合わせ参拝いたしました。



下川

しもりんマルシェ2024

9月14日、下川支所主催により今年2回目の「しもりんマルシェ2024」がまちおこしセンターコモレビ前の駐車場で開催されました。

本イベントは、生産者と消費者をつなぐイベントとして下川支所が企画したもので、イベント名の「しもりん」は、下川町のイメージキャラクターから取っています。

当日、JAではフルーツマトを販売、そのほか下川町産のしいたけやブルーベリー、夏いちご、地元の家庭菜園の野菜などが露店に並びました。

新しく下川に開店したアレルギーフリーのカフェjinnoki_cafeさんも参加され、来場者は買い物を楽しんでいました。

今回のマルシェでは、初の試みとなる餅つきも行われ、体験した子供達はとても楽しそうに笑顔で参加していました。



フォトレポート 中川・下川	2
フォトレポート 下川・美深	3
フォトレポート 美深	4
フォトレポート 青年部・女性部・スズラン会	5
理事会報告・新人紹介	6
営農情報	7
JAグループ北海道の農政活動強化に向けて	8
警察より・組合員の異動・編集後記	10

今月の表紙



なかがわ秋味祭り開催

9月15日、なかがわ秋味祭り北海道丸太押し相撲大会が中川町の河川敷イベント広場にて中川町観光協会が主催のもと、中川町・商工会・中川支所の実行委員会により開催されました。午前のイベントでは毎年メインである丸太押し相撲大会が開催されました。男子5人1組、女子3人1組で編成され、男女別の2部門で町内外から17チームエントリーしました。主審の合図で、男子チームは100kgの丸太を、女子チームは25kgの丸太を必死に押し合い会場は非常に盛り上がりました。午後からは恒例の鮭のつかみ取りが開催され、参加者は水の中に入り全身ずぶ濡れになりながら奮闘しておりました。また、野菜のつかみ取りには北はるか管内で栽培された南瓜も並び、お客様に非常に喜んでいただきました。午前中は気温が低く雨も降っており人が集まるかと心配でしたが、盛況のうちに終えることができました。

下川

第21回しもかわうどん祭り開催

第21回しもかわうどん祭りが、8月31・9月1日に下川町にぎわいの広場にて開催されました。

下川町産の小麦を使用した手延べうどんをはじめ、町外・道外のうどん店や、色々な露店が並び、多くの来場者で賑わいました。

北はるか下川支所では、職員親交会が主体となり、フルーツトマトやスナップエンドウ、南瓜、メロン、じゃがいも等、北はるか産の農産物を販売し、牛乳消費拡

大PR活動として牛乳の無料配布も行い、多くの方に喜んでいただきました。

1日には、美深町よりFood831番さんに出店協力をしていただき大福もちなどの販売を行い、お昼前には完売となる大盛況ぶりでした。

今後も地域活動への協力、そして農畜産物のPR活動に努めていきたいと思ひます。



北はるか管内の農産物販売は大好評



3名1チームによる「うどん大食い対決」

美深

美深ふるさと秋まつり開催

9月7日、第38回 美深ふるさと秋まつりが町民体育館横のイベント広場にて開催されました。

開始の花火に先立ち、主催の美深町観光協会 齊藤 宏行会長は「今年の観光協会のイベントは大変喜ばしいことにすべて晴れとなりました。今日は秋の味覚を堪能して頂ければと思います。」と挨拶し、言葉通りの青空に開会式はにこやかに進行しました。

売店は、11時のオープン前から肉用牛生産振興会による美深産黒牛の炭火焼きや、もち米生産組合による大福おこわ・赤飯を目当てに、長蛇の列ができていました。酪農振興協議会では消費拡大キャンペー

ンの一環として牛乳の無料配布を行いました。女性部による焼きそばや、青年部による焼き鳥、スズラン会による子供縁日など大盛況となりました。

イベントでは、青年部が主催するビンゴ大会にて、びふかメロンや美深産黒牛肉が景品に用意され、会場は大変盛り上がりしました。

最後に、もち米生産組合による実りの秋を願う餅まきが行われ、全日程が終了致しました。

各生産組織の皆様のご協力、大変ありがとうございました。



好天に思わず笑顔の開会式



多くの参加者でにぎわう売店ブース

美深

もち米 収穫判定会を開催

9月11日南営農集団倉庫、12日富岡倉庫にて美深町米麦改良協議会と北はるかもち米生産組合美深部会により、もち米の収穫判定会が開催されました。

もち米の収穫時期は玄米の黄化具合から判定することができるため、生産者は各自事前に水田から採取し風乾させたサンプルを持参、当日会場にて千歯こき等で脱穀、粃すり作業を協同で行いました。

収穫の前段階として、農業改良普及センター 谷 係

長から今年の生育過程の説明があり、5月中旬の低温で茎数が少なく推移しましたが、穂数が少ない反面1粒重が大きい傾向にあるため、当初の予想よりも収量が期待できるとのことです。

収穫適期は、品種や地域で差はありますが、判定会の翌日～3日後となりました。かぼちゃの収穫などが重なる繁忙期となるため、農作業事故の注意喚起がされ、終了致しました。



生産者で協力して調整(粃すり)



迫った収穫期にそわそわ

美深

米穀初出荷表彰が行われました！

10月2日、北はるか農協倉庫事務所に美深町米麦改良協議会主催のもと、もち米の初出荷表彰式が行われました。

表彰に先立ち、小林組合長は「道外からも北はるか管内の特別栽培米は大変評価が高い。近年もち米の消費は増加傾向であり、高品質のもち米がしっかり消費者へ届くよう、今後も関係機関共々協力をお願いしたい。」と述べました。上川農業改良センター上川北部支所 菊地支所長は「全道的な登熟の低下の中、歩留まり良好かつ平年並みの収量を確保できたことは、生産者の努力のたまものです。おめでとうございます。」と述べ、草野 孝治 町長は、「生産者の皆さんと一致団結し、今後も美深のもち米団地を盛り上げていきたい。」と祝辞がありました。生産者代表として深澤さんは「当初は移植後の低温を心配しましたが、量・質ともに良いものを出せました。普及センターと農協の日ごろの巡回指導に感謝いたします。」と礼

を述べました。

本年産も一般米予定数量16,497俵の全量を色彩選別し、高品質出荷に努めてまいります。



満足の出来秋に笑顔の列席者の様子

～もち米初出荷 表彰者～

9/20入庫	深澤 光宏さん(列左から3番目)
9/21入庫	中瀬 正美さん(列左から2番目) (株)百商屋 代表取締役 山下 博史さん(列左から4番目)

青年部

女性部

スズラン会

JA女性部・青年部が考えた「農家めし」教えちゃいます！

7月23日、文化会館COM100調理室で女性部員2名、青年部員3名、スズラン会員2名が集まり「JA女性部・青年部が考えたご飯がすすむ農家めし 第三弾」の試食・撮影会が行われました。

この企画は、JA上川地区女性部協議会とJA上川青年部協議会の合同事業で上川地区の農畜産物PRと消費拡大を目的として生まれた取り組みです。事前に各

部会員から募集したレシピの中で、今年はフルーツマトとスナップエンドウをメインにした「中華風卵炒め」と「スパゲッティオムレツ」の2品を開発しました。当日は、各部会員同士が作物の近況等を交えながら、和気あいあいと調理している様子が見られました。

このレシピの内、「中華風卵炒め」は旭川市内の「みはら食堂」さんにて9月2日(月)から6日(金)まで提供されました。また今後、上川13地区のレシピが集計され、小冊子として発行されますので、是非ご賞味ください！



フルーツマトとスナップエンドウの中華風卵炒め

スパゲッティオムレツ



各部会員の交流の場になりました



完成の集合写真

青年部

子供農業学習にて「流通」の社会科見学を開催！

9月3日、JA北はるか青年部により、美深小学校3年生20名を対象に子供農業学習が行なわれました。

本活動は、青年部の食育の一環として収穫から店頭へ並ぶまでの「流通」の流れを圃場や施設見学により学んでもらう目的で初めての企画となります。

当日は、かぼちゃの収穫・風乾を見学したのち、JA北はるか選果施設にて選果・梱包作業を見学し、道の駅びふかの売り場にて、地元野菜がお店へ並ぶまでの流れを説明しました。

児童の皆さんは特に倉庫施設の選果機に感動したようで、ベルトコンベアで運ばれるかぼちゃに、「すご

い！」と歓声を上げていました。

「この倉庫って体育館何個分くらい？」「かぼちゃを乾かす大きな扇風機はいくらするの？」といった質問に青年部員もたじたじしながら、終始微笑ましい雰囲気となりました。

青年部 甲斐副部長は「流通という言葉今日は覚えていってほしい。皆さんの食卓に並ぶまで、多くの方が関わっていることが知れたと思う。いただきます、という言葉はそういう人たちへの感謝の言葉です。大切にして欲しい」と締めくくりました。



興味津々で選果機を見つめる児童の皆さん



真剣にメモを取る児童の皆さん

理事会報告



第6回 理事会 7月25日(木)

■決議事項

- 議案第1号 規程類の変更について
- 議案第2号 職員就業規則(別表2・3 就業時間)の変更について
- 議案第3号 組織代表者会議の開催及び付議資料について
- 議案第4号 組合員への融資について
- 議案第5号 新規就農者の正組合員加入及び就農資金計画について(下川地区)

■報告事項

- 1. 第2四半期 監事監査の実施について
- 2. 簿外債権に関する報告について
- 3. 当組合出資先法人の決算状況について(下川地区)
- 4. 各部からの報告事項について
- 5. 特定組合員 6月末実績報告について

第7回 理事会 8月27日(火)

■決議事項

- 議案第1号 個人情報関連規程等の変更について
- 議案第2号 リース資産の取得について
- 議案第3号 北海道AGRIFROZEN(株)への出資について

■報告事項

- 1. 7月末基準 決算推定について
- 2. 7月末 余裕金の運用状況について
- 3. 内部監査の品質評価について
- 4. 給与規程(別表3)通勤手当の変更について
- 5. 組合員の異動について
- 6. 共済コンプライアンス点検の結果について
- 7. 信用供与限度超過に関する調査報告について
- 8. 各部からの報告事項について

第8回 理事会 9月30日(月)

■決議事項

- 議案第1号 第2四半期 監事監査の回答について
- 議案第2号 令和6年度自己査定 土地評価基準の設定について
- 議案第3号 取引リスク評価書及び総括表の改正について
- 議案第4号 「参与設置規程」の制定について
- 議案第5号 総会制移行への公告文書の発信について
- 議案第6号 正組合員の加入について
- 議案第7号 組合員への融資について

■報告事項

- 1. 各部からの報告事項について

10・11 月行事予定

10月25日(金) 第9回理事会

11月22日(金) 第10回理事会・営農推進会議

新 人 紹 介



名前 とうかいりん かずゆき 東海林 和之

年齢 57歳

所属部署 購買部 燃料課

出身地 美深町

趣味 アウトドア・温泉巡り

一言 36年振りに故郷に帰り、心機一転頑張ります。不慣れな点多々ありますが、生産者の皆様のお役に立てれるよう努力しますのでよろしくお願いたします。



ほ育牛の管理について

「子牛の発育が何だかイマイチで・・・」そんな状況を感じることはありませんか？

子牛、特にほ育牛は季節の変わり目や厳しい寒さ、寒暖差が大きい時期に疾病が増加します。ほ育牛は体脂肪が少なく、第一胃の発育が未熟で発酵熱の発生が少ないため、成牛や育成牛よりも寒さに弱いことから寒冷対策も重要です(表1)。

疾病はその後の発育に影響しますので、厳しい寒さを迎える前に今一度ほ育牛の管理を確認しましょう。

表1 乳牛の限界温度

	下限	上限
子牛	13℃	26℃
育成牛	-5℃	26℃
乾乳牛	-14℃	25℃
乳量ピークの泌乳牛	-25℃	25℃

(生産獣医療システム乳牛編 1 より)

ほ育牛の下痢発生が少ない農場は「清潔」「乾燥」「保温」「観察」をポイントに飼養！

- 清潔** → ハッチやペンの入れ替わりの時に石灰で消毒する。
- 乾燥** → 寝わらは厚めに敷き、交換の頻度を多くする。
- 保温** → ハッチの入口に板を置くなど隙間風が入らないようにし、寒い時期はカーフジャケットやヒーター、湯たんぽなどで暖める。
- 観察** → 糞の状態やほ乳時の吸い付き、表情を見るなどし、「いつもと様子がおかしい」と思ったらすぐに対応する。ミルクの切り替えや飼養場所の移動、急激な温度変化などのストレスは重ならないように気をつける。



写真
カーフジャケットと
ネックウオーマーの活用

初乳やミルクを飲ませる時も以下のことに気をつけましょう。



良質な初乳をお腹いっぱい飲ませる

出生後6時間(遅くとも12時間)以内に3ℓ以上飲ませることが目安です。比重計や糖度計を活用して良質な初乳を給与しましょう。



ほ乳はできるだけゆっくり行う

ゆっくり哺乳することで消化効率が向上し、食餌性の下痢が減少します。切り口が広がったニップルはすぐに交換しましょう(飲むスピードが早いと誤嚥から肺炎を起こすことがあります)。



代用乳は量と温度を守る

人の感覚はあてになりません。代用乳は「はかり」「温度計」「計量カップ」を使って希釈倍率と飲ませる温度を守りましょう。



ほ乳機器はアルカリ洗剤を用いて正しく洗浄する

ほ乳機器は熱湯を使ってのすすぎ洗いだけではタンパク質が変性し、こびりつきます。40~50℃前後のお湯ですすいだ後、アルカリ洗剤でタンパク質汚れを落としてすすぎ、乾燥させましょう。

こんなことありました！

いつもカップですくっていた量が
必要量だと思っていたが、計量
すると半分しかなかった…。

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第4回「農政活動の仕組み」について

コロナ禍による農畜産物の需給緩和、肥料・飼料をはじめとする生産諸資材の価格高騰、気候変動の抑止に向けた環境負荷軽減の取組み、年々甚大化する自然災害による農地・施設等の損壊、深刻な労働力不足など、我々JAグループの努力だけでは解決できない課題が山積しております。

食料安全保障の強化、持続可能な北海道農業の確立のためには、我々の努力だけではなく、国の支援が不可欠であります。そのカギとなるのが農政活動であります。

農政活動とは、組合員一人ひとりの声をJA・地区で集約し、みんなの声として、農業・農村・JAに理解のある国会議員に対し、現場の実態を届け、その課題の解決につながる政策を実現してもらう一連の活動・運動であります。

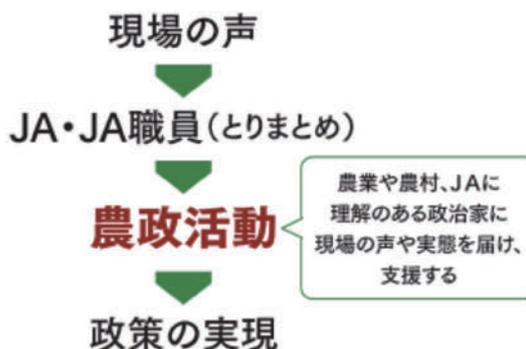
令和5年度は、食料・農業・農村基本法の改正や、作目別の経営安定対策をはじめとする農林水産予算の確保に向け、JAグループ北海道では農政活動を展開しました。その結果、予算の確保をはじめ、さまざまな政策支援が実現しました。しかし、これですべての課題が解決する訳ではなく、生産現場には、まだまだ課題が山積しております。

生産現場の実態を届け、我々の求める政策を実現させるためには、国会議員による国や行政への積極的な働きかけが重要です。そして、そのような議員を支えていくことも農政活動の柱の一つであります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要であります。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第5回)は、参議院選挙の仕組みについて紹介します。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第5回「参議院選挙の仕組み」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そして、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

参議院選挙では、各都道府県を区域とする「選挙区選挙」と、全国を一つの単位をする「比例代表選挙」の2つの選挙制度で成り立っています。「選挙区」は、北海道から立候補している候補者名を書いて投票します。「比例代表」は、全国から立候補している「候補者名」または「政党名」を書いて投票します。この「比例代表」は非拘束名簿方式といって、政党の得票数に応じて議席が配分された後、その政党の中で個人名の得票数が多い順に当選が決まる仕組みとなっています。



つまり、「比例代表」の投票用紙に「候補者名」を記入しないと応援したい候補者に票は入らない仕組みになっています。

「比例代表」には、さまざまな業界や団体が代表候補を送り出しています。多くの得票数を獲得し、当選順位を上げるよう活動しております。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。言い換えると、得票数で、我々JAグループの力が測られていることになります。

国会(政治)は数が力です。国を動かすには、国会に一人でも多くの農業やJAの理解者を増やすことが重要



です。そのために、我々JAグループの代弁者として、先頭に立って多くの国会議員に働きかけ、農業やJAの理解者を増やし、まとめていくことができる議員、つまり、JAグループの代表議員が必要なのです。

東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。次回(第6回)は、後援会の活動経過について報告します。

東野ひでき北海道後援会



犯罪被害者等支援活動の周知と参加の促進及び犯罪被害給付制度の周知徹底 社会に広げよう犯罪被害者等支援の輪

【性犯罪被害相談電話「#8103（ハートさん）」の周知】

わいせつ被害や痴漢で悩んでいる方、家族・知人が被害に遭われて悩んでいる方、「相談したいけれど、警察署には行きづらい」と迷っている方。まずは、性犯罪被害相談電話「#8103（ハートさん）」にお電話ください。あなたの心（ハート）に寄り添い、あなたの声をしっかりと受け止めます。北海道内からダイヤルすると、発信された地域を管轄する警察本部（方面本部）の性犯罪被害相談窓口につながります。（24時間対応）

電話回線によっては、「#8103」につながらない場合がありますので、その際は0120-756-310（性犯罪被害110番、通話料無料）にお電話ください。

【犯罪被害に遭われた方への理解】

自分自身が犯罪被害に遭う。自分の大切な人が犯罪被害に遭う。あなたは、そのようなことを考えたことがありますか？

犯罪被害者の方々は、ある日突然、犯罪被害に遭ったことで、直接的なダメージのみならず、被害後も

- 被害のトラウマによるフラッシュバック
- 被害によるパニック障害、睡眠障害等の発症
- 生活の立て直しや医療費などの経済的負担
- 周囲の人からの心ない言動による二次的被害

など、様々な問題を抱えながら一人で苦しんでいることが少なくありません。このような犯罪被害者の現状を理解し、一日でも早く犯罪被害者が問題を克服できるように寄り添い、社会全体で犯罪被害者を支えていくことができる支援の輪を広げていきましょう。

【犯罪被害者等のための各種相談窓口の積極的利用】

警察では、事件や事故の被害に遭われた方、家庭内暴力、ストーカー、お子さんのいじめ問題などで悩んでいる方の相談を受け付けています。また、事件や事故による心の傷が癒やされずに悩んでいる方のために、民間の被害者相談窓口のカウンセラーがあなたの話を聞きします。一人で悩まずに、まずはご相談ください。

< 警察相談電話 >

- ◇ 性犯罪被害110番 #8103（ハートさん）
- ※ #8103（ハートさん）につながらない場合
フリーダイヤル 0120-756-310
- ◇ 少年相談110番
フリーダイヤル 0120-677-110
- ◇ 暴力団相談電話 011-222-0200
- ◇ 道警相談センター #9110

< 民間被害者相談電話 >

- ◇ 北海道被害者相談室（札幌） 011-232-8740
- ◇ 函館被害者相談室 0138-43-8740
- ◇ 北・ほっかいどう被害者相談室（旭川）
0166-24-1900
- ◇ 釧路被害者相談室 0154-24-6002
- ◇ オホーツク被害者相談室（北見） 0157-25-1137
- ◇ 性暴力被害者支援センター北海道（SACRACH）
0120-8891-77
- ◇ 函館・道南SART（性暴力被害対応チーム）
0138-85-8825

【犯罪被害給付制度の周知徹底】

犯罪被害給付制度は、故意の犯罪行為により亡くなられた犯罪被害者のご遺族や、重傷病を負い、又は後遺障害が残った犯罪被害者の方に対して、国が給付金を支給する制度です。

法律により給付金を受けることができる方や申請の期間・方法が定められていますので、詳しい内容については、警察本部又は最寄りの警察署にお問い合わせください。

組合員の異動 令和6年9月30日現在
※（ ）前号比

地区名	正組合員数	准組合員数
美深・音威子府	(±0名) 271名	(-5名) 531名
下川支所	(±0名) 140名	(±0名) 182名
中川支所	(±0名) 83名	(-2名) 156名
合計	(-1名) 494名	(-7名) 869名
	1,363名	

編集後記

10月に入り、陽が落ちるのが随分早くなりました。体調管理には十分留意していただきたいと思います。先月の話ですが、皆さん中秋の名月はご覧になりましたか？我が家は息子が夜空を指さし、ようやく満月だと気が付きました。月見ミルクに洒落込む乙な我が子の将来が楽しみです。
(H・T)